



きっかけは タイ vol.17

タイから繋がるライフストーリー



保護者向けセミナー
で(2019年)

深澤伸子さん ◆ 日本語教師

日本語教育を軸に

日タイの人々の

「生きる力」を

育む活動へ。

タイで日本語教師に

なったきっかけは？

——日本語教育に携わることになったきっかけは？
香港で日系企業に勤めていた夫がバンコクに赴任することになったことを機に、小学校の教師を辞して、1982年にバンコクで暮らすことになりました。タイに来てみたら「友達いない」「知り合いいない」「やることない」で失語症になりそうでした。これでは「ミセス深澤」になっちゃダメ。打開するには自分の名前でするしかないと思いついて、日本語の非常勤講師を募集しているというのを知りました。
——そんな経緯で日本語教師になり、翌年タマサート大学の常勤になり10年勤めました。

——当時は日本のプレゼンスは強くても今のようには身近ではなかったですね。

バンコクにおける日本人とタイ人が分断されていると感じていたので、「タマサート友の会」を組織して、学生と日本人が接触する機会を作りました。友の会のメンバーに大学に来てもらい学生が校内を案内したり、日本人家庭に学生がホームステイしたりという活動です。

——その後は？

国際交流基金で8年間、タイの高校の日本語教員を養成するプロジェクトを担当しました。全国から集まった20人の高校の先生が10カ月日本語と日本語教授法を学ぶというものです。日本での2カ月の研修もあり、実にハードなコースでした。
——日本語教育の裾野を広げよ

うという試みだったのです。

ええ。当時、高校の先生で日本語の下の地のある人はのぞめなかったもので、当初は英語教師など語学を教えるスキルのある先生に来ていただく予定でしたが、実際は学校の都合もありそうもいなくて、数学や体育など実にはいろいろな先生方が参加されました。日本に接点のない先生たちが多かったもので、バンコクの日本人家庭を訪問するホームビジットなども企画しました。私にとっては、タイの人とタイという国に出会ったと思えたプロジェクトでした。

タイ国内ホームステイ
プログラム「ルアムジャイ」

——「ルアムジャイ」はユニークな活動ですね。

日本語を学ぶ地方の学生がバ



時計回りに、タマサート大学の卒業式。学生と(1993年)、同大学の授業風景(1980年代)、タイ日国際児の大学生のための複言語複文化ワークショップ、バイリンガル教室の活動

Shinko Fukazawa

1952年新潟県生まれ。82年、帯同家族として来タイ。タマサート大学の日本語講師に。94年～2002年、国際交流基金で日本語教員養成プログラムに携わる。03年、タイ国内ホームステイプログラム「ルアムジャイ」を立ち上げる。日本語を学ぶタイの地方の高校生をバンコクの日本人家庭で受け入れ、日タイ双方の「生きる力」をエンパワーメント。「バイリンガルの子どものための日本語同好会」世話役、「タイにおける母語・継承語として日本語教育研究会」代表。

ンコクの日本人家庭にホームステイするというこの活動は、国際交流基金を辞めて地方の教師会を回っていたときに、やる気のない生徒をどうしたらいいだろうと教師から相談を受けたのがきっかけでした。日本人と会う機会もない、就職の機会もない状況で、何事にもやる気のない学生に困り果て、ホームステイさせたら日本語を使うチャンスが出てやる気が出るのではないかと、その先生はおっしゃったんですね。
——それで2003年、南部ナコンシータンマラート県から夜行列車に揺られて18人の高校生がバンコクにやってきて、日本人家庭で2泊3日過ごしました。学生も日本人のホストファミリーも、お互いに何が起るのか分からないままの出発でした。

活動の拠点

Q あなたにとってタイとは？



タイ国内ホームステイプログラム「ルームジャイ」の解散式(2014年)

ここからドラマが始まりました。ホームステイを終えて帰る前に解散式が集まったのですが、学生と日本人のホストマザーが泣き出したんです。別れるときに感極まって、その後送られてきた報告書には、学校に起きた変化が書かれていました。学生たちが遅刻しなくなりました。日本語検定4級の試験を受けたいから夏休みに特訓してほしいと学生たちが言い出した。お母さん(ホストマザー)と話したかったのに話せなかったから勉強したいと。何に対してもやる気がなかった子たちがです。

「生きる力」をエンパワー

一方、日本人ホストファミリーにも大きな変化がありました。タイに暮らして初めてタイで人の役に立つ経験をしたと語る人、タイの地図で学生たちが住んでいるナコンシータンマラートを確かめて、どんなところか知りたいという人、初めてタイを実感したのだと思います。それから今まで1年途切れたことはありませんが、続いていて、ホームステイ後に何年もつきあいが続いている家族もいるし、大学受験でバンコクに出てきたときに会いにきてくれたとか、本帰国の際にわざわざ地方から見送りに来てくれたという話も聞きます。

ここ2年、コロナ禍でオンライン交流になっていきます。残念ながら今年も同様です。ただオンライン交流では思いもかけない学

生たちの生活も知ることができ、予想以上に楽しい交流ができました。コロナが収束したらぜひ現地を訪ねてもらいたいです。

——日本語教育支援という枠に収まらない活動ですね。

日本人にとっては、タイとのより豊かな繋がりが生まれて、ひいてはタイにいる自分を肯定することに繋がります。子どもたちにとってもタイのお姉さんやお兄さんと過ごした記憶はとても大きい。タイ人にとっても日本人にとってもお互いに「生きる力」をエンパワーする取り組みとして捉えています。

——日本人会の「バイリンガルの子どものための日本語同好会」、「タイにおける母語・継承語としての日本語教育研究会」の活動もなされています。

バイリンガル教室は、日本にルーツがありタイで暮らしている子どもたちの日本語教育のお手伝いから始まりましたが、なぜ日本語を学ばせたいのかを共に考えていった結果、アイデンティティを主体的に構築できることばの力を育成したいのだと気づき、現在はそのため体験型活動を親と子で創る、世界でも珍しい実践の場になっています。今、最も注力している母語・継承語としての日本語研究会での活動ともリンクしていて、複言語複文化の中で育つ子どものことばとアイデンティティの問題を、保護者、教師、日本の専門家とも連携して研究しています。

——ありがとうございます。



活動報告

同好会、サークル、その他
日本人会の活動を写真で紹介



【厚生部】

成人の日祝賀会

日時：2月23日(水)
場所：日本人会本館

2名の新成人とご家族が参加されて、アットホームな祝賀会になりました。島田会長、桐生理事からの祝辞と、記念品贈呈、新成人からの抱負を発表していただきました。今年も日本人会優待店の美容室「106 HAIR STUDIO」より、ヘアメイク・ネイル・アイラッシュと着付けの技術協賛をいただきました。厚く御礼を申し上げます。

【企画推進部】※

タイ語基礎クラス

日時：2月3、10、17、24日(木) 10:00~11:30
講座委託：Westell Language School

習った次の日からすぐ使える内容で非常に役立つという感想をいただいた、満足度の高い講座でした。

【文化部】タイを知る会

桑野淳一先生との見て歩き

タラートノイ&ヤワラート
日時：2月18日(金)

フアランポーン駅に集合し、桑野先生の案内でタラートノイからヤワラートまで散策しました。自分ひとりでは行けない奥のさらに奥の世界を垣間見ることができ、古き良き時代の面影と最先端のスポットの両方に驚かされました。



「目標実現のための戦略的思考」について具体的にお話しいただきました。

【HRI Thailand 共催】※
職場でも家庭でも使える

目標実現のための 戦略的思考セミナー

日時：2月24日(木) 14:00~15:30
参加者：26名
講師：江草嘉和氏/HRI (Thailand)
Co., Ltd. Managing Director

【企画推進部】※

インター校合同説明会

日時：3月18日(金) 13:30~15:00
参加者：26名

普段、見ることのできない学校内の動画を閲覧できたため雰囲気を感じ取ることができたとの感想をいただきました。



【文化部】バンコク短歌会
吟行会

日時：2月20日(日)
場所：カオヤイワイナリー

短歌会会員も、会に初めて参加した方々も一緒に、葡萄狩りや醸造所見学やワインの試飲などを存分に楽しむことができました。



【企画推進部】※

オンライン 英検基礎講座

日時：3月15日~23日(計6回)
参加者合計：41名
講義委託：GEOS

ccess in Reading Part 4
itions and answer choices before
ng the passage.

assage. try to find the answers to
you have read beforehand.



英検3級・準2級・2級のリスニング&リーディング及びライティングにおける講座をそれぞれ行い、GEOSのネイティブスピーカーの先生に講師を務めていただきました。



【文化部】フラダンス同好会

ドンキモール3周年イベントに参加しました

日時：2月26日（土）

長い間Zoomでのレッスンだったため、なかなか息を合わせて踊るのが難しかったのですが、気持ちを合わせて歌の意味を伝えられるように丁寧に踊ることを心がけ、楽しいステージになりました。

【青少年部】演劇サークル

定期公演『てんきんかんとキツネのおはなし』

日時：3月6日(日) 場所：日本人会別館

ブラスバンドサークルが客演。表現の仕方は違っても、同じ表現者として互いに良い刺激になった発表会でした。ブラスバンドサークルの講師からも、またいっしょにやりましょうとうれしいお言葉をいただきました。



【企画推進部】※

幼稚園合同説明会

日時：3月9日（水） 13:30～15:00

参加者：16名



「園の代表である園長先生から直に教育方針を聞いた」とのお声をいただきました。

【青少年部】茶道サークル

親子で学ぼう！日本の伝統文化『茶道』

日時：3月19日（土） 場所：日本人会別館

裏千家バンコク協会、茶道サークル指導者のご協力の下、日本の伝統文化『茶道』に触れるイベントを開催しました。実際にお菓子を召し上がっていただき、お茶を点てることが出来たことが、ご参加者にとって楽しい体験となっている様子でした。



【運動部】バスケットボール部（NKPJ）

部内大会を実施しました

日時：2月27日（日） 12:00～21:00

場所：B-pro onnut



普段とは参加者のモチベーション、緊張感もことなり、すべての試合が接戦で、とても見応えのある大会となりました。

【事業部】

日本人納骨堂春季法要

日時：3月21日（月）

場所：日本人納骨堂（ワットリアップ境内）



新保剛在タイ日本国大使館領事部長、島田会長をはじめ、御霊に縁のある方や彼岸参りに来られた方々を合わせ23名の方にご参列いただきました。

【企画推進部】Hoiku株式会社共催 ※

これからの時代に求められる子どもの力

講師：藤森平司氏／新宿せいが子ども園園長・
保育環境研究所ギビングツリー代表

日時：3月24日（木） 参加者：45名



急速に時代が変化する中で、子どもが将来成功をおさめるのに必要となる能力（対話する能力など）について、最新の脳科学、乳児研究に基づき解説していただきました。



※はオンライン開催

詳細は日本人会のWebサイトをご覧ください

2022年度 タイ国日本人会 定期総会のご報告



ご出席いただいた梨田大使・理事・幹事・オブザーバーの皆様

定期総会概要

- ◆日時 4月21日(木) 17:00~18:00
Zoomを使用し会場よりオンライン配信
- ◆配信会場 Glow Fishスタジオ(日本人会本館2F)
- ◆出席者 計45名
- ◆欠席委任状 485名
委任状総数 530名
- ◆内容
 1. 定期総会開会
 2. 総会成立
 3. 理事・監事当選者発表
 4. 新会長発表
 5. 議長選出
 6. 会長挨拶
2021年度一般報告・2022年度方針説明 島田会長
 7. 日本人会名誉顧問挨拶 梨田大使
 8. 2021年度会計報告・2022年度予算報告 会計部長
 9. 2021年度会計監査報告 監事
 10. 質疑応答
 11. 閉会



定期総会会場

去る4月21日(木)、2022年度タイ国日本人会定期総会を開催致しました。
 今年は昨年同様リアル＋オンラインでの開催となりました。
 会場出席者には在タイ日本国大使館より特命全権大使であり日本人会名誉顧問の梨田大使にご臨席いただき、日本人会からは島田会長をはじめ、24名の理事にご出席いただきました。



島田会長



梨田大使

※当日の配布資料(会計報告など)はウェブサイトからご覧ください。



島田会長挨拶

日本人会会員の皆様、こんにちは。会長の島田厚でございます。

今年は2年に一度の理事監事改選の年であり、去る3月21日に理事22名・監事2名の立候補者が当選となりました。また臨時理事会にて、4期目として、会長に推薦いただきました。これから2年、新たな気持ちで会の運営に邁進し、皆様がより健やかで安心・充実したタイでの生活が送れますよう、サポートしていきたいと考えております。

日本人会の定期総会も、新しい様式でのオンライン配信は今年で3年目となりました。昨年は、会員の皆様の安全を考え、完全にオンライン参加のみと致しましたが、今年は、皆様を会場にお招きし開催することができました。このような状況にも関わらず、多くの方々にご出席、委任状でご協力いただきましたこと、御礼申し上げます。

2021年度活動報告

個人会員は、コロナ禍の中2020年度と同じような傾向で、退会は2000名、入会は1100名となり、2021年度3月末で、4575名と昨年に比べ、907

名減少いたしました。

当初予算では、270万バーツの赤字を見込んでいましたが、赤字幅をなんとか縮小することができ、123万バーツの赤字となりました。ただし、2022年度についても会員増の期待は難しく、350万バーツの赤字予算となっております。

●日本人会収益改善プロジェクト

これまで、会員の皆様方と協力して、いろいろと改革を行ってまいりました。クルンテープ誌の季刊化、会館利用料の値上げ、2023年からの会友会員の基準見直しなど、ご不便をおかけすることもありましたが、会員数の減少が予想以上に進み、このままでは、会館統合による効率化や、会費の値上げの検討をせざるを得ない時期となっております。特に2022年度は、会館のあり方について、本格的に議論を深化していく必要があると考えております。

●会館利用状況

昨年の4月以降、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、会館の利用を制限させていただいた時期が半年近くありました。

部会や同好会・青少年サークルにスムーズなオンライン活動を提

供すべく、Zoomアカウントの貸出を開始いたしました。会議室貸出や図書館は10月より再開し、会員の皆様に安心して会館をご利用いただけるよう、SHA(アメリカ・ジンギタイランド健康安全基準)への登録も行いました。

アフターコロナ時代の日本人会新企画

少しでも有益な情報、コロナ禍でも楽しんでいただけるコンテンツを提供すべく、オンラインを中心としたイベントの強化に努めてまいりました。2021年4月〜2022年3月で、100回以上ものイベントを会員の皆様と協力して開催することができ、事務局が主導するイベントだけでも、申し込み者延べ人数が7000名を超えています。これほどの多くのイベントを皆様と協力して実施できたことは、コロナ禍の前ではなかったことです。

特に、6月から7月にかけては、日本国内でワクチン接種が進む中、タイでのワクチン接種がなかなか進まず、不安になられた方々が大変多い時期でした。日本人会では、6月にはバムルンラード病院の百武先生、大使館の大場公使を招き、ワクチンセミナーを実施いたしました。大変大きな反響

をいただき、1000名近くの申し込み、300件もの事前質問をいただきました。

また、7月の大使館主催のオンライン説明会の際には全面的に運営協力をし、梨田大使から在タイ邦人向けに、一日も早いワクチン接種への取り組みについてお話しいただきました。

コロナ禍に負けないシリーズ

コロナ禍の皆様の心身の健康を守るため、日本の外務省から「在留邦人ビジネス基盤強化事業」として補助金をいただき、医療・子育て・ビジネスなど10のオンラインセミナーと、バーチャルランイベントを開催致しました。

この補助金事業は、在外の日本人会や商工会議所など、日本人によって構成される組織に認められたもので、まさに在留邦人の核となる日本人会でしかできない事業でありました。

バーチャルランイベントの開催

10月には、在タイ邦人の健康増進活動として、「微笑みの国を歩いて走って旅気分! Virtual

Fun Run in Thailand」を開催しました。1000名の方に参加いただいた本企画は、地球の円周の5分の4にも及ぶ、3万

3000キロもの距離を皆さんで
走ることができました。

また、コロナ禍で経済が厳しい
中、45社もの企業よりご協賛を
いただき、完走された方の中から抽
選や順位によって、多くの賞品を
提供することができました。

コロナ禍のリアルイベント

年が明け、規制緩和が進み、少
しずつですがリアルでのイベント
も開催することができました。

通常であれば、年3回実施して
いる英語検定は、2021年度は
なんと1回のみ試験を実施する
ことができました。事前のATK
検査など、受験生の皆様にも負
担をかける運用でしたが、感染対
策に配慮しながら無事終了するこ
とができました。

その他、様々なボランティアの
ご協力のもと、皆様の生活に役立
つ企画を行なってまいりました。
活動が制限される中でのご苦労も
多かったことと思いますが、重ね
て御礼申し上げます。

日本人会の情報発信

日本人会LINEでは、イベン
ト情報などの発信の他、大使館と
も協力し、ワクチン情報の発信も
LINEで行いました。



島田会長

さらに、10月からはTwitter
erを開始いたしました。情報拡
散しやすい特性を利用して、日本
人会のイベント情報を発信してお
ります。Youtubeでは、主
にオンラインセミナーの様子を配
信しております。過去のセミナー
を是非、Youtubeでご覧に
なってください。

タイ社会への支援活動の継続

2020年、2021年とチャ
リティーバザーは中止となつてし
まいりましたが、タイ社会への貢献
活動であるチャリティー基金はコ
ロナ禍でも継続する意思を持ち、
10団体総額8万6336バーツの
寄付を決定しました。

2022年度活動計画

今年度は、二つの施策を重点
的に行ってまいります。

【施策①】より入会しやすい仕組
み作り・デジタル化

昨年度、会員システムを約15年
ぶりに刷新いたしました。会員の
皆様には、直接目に触れる機会が
ありませんが、今後のデジタル化
に向けた基礎となる部分の構築を
いたしました。

2022年度中には、ウェブサ
イトから入会申込や、住所変更な
どの、会員情報の変更ができるよ
うにいたします。また、会費の支
払いもオンライン上にて、クレジ
ットカード決済ができるように構
築し、より入会しやすく、スムー
ズなお支払ができるようなシステ
ムを構築する予定です。さらに、
今年6月から施行される個人情報
保護法(PDPA)への対応も進め
ております。

【施策②】タイ生活に有益なイベ
ントの充実／在タイまもない方
へのイベント

在タイまもない方を対象とした
イベントの充実を図り、タイ語教
室、タイの異文化理解を深めるセ
ミナー、病院と提携したタイでの
医療について、タイでの生活の質
を向上するイベント実施していく
予定です。

昨年は、日本人向けのイベント

だけでなく、タイ人向けの日本語教
室を試験的に行いました。本年も
予定しており、日本人向けタイ語
教室に参加された方との交流イベ
ントができないか計画中です。

また、政府の規制緩和をうけ、
今まで中止せざるを得なかったリ
アルイベントについて、再開に向
けて調整しております。

昨年中止となりましたソフトボ
ール大会は、新たな会場での開催
の目途が立っております。チャリ
ティーバザーや盆踊り大会は、従
来通りの方ががかりな開催は、まだ
まだ難しいとの判断もありますの
で、小回りの利いたイベントとす
べく、バザーは規模を縮小、盆踊
り大会については、他のイベント
とのコラボレーションなどで検討
しております。日本人会ならではの
イベントを企画していきたいと思
います。

最後となりましたが、これから
もタイ国日本人会は、日本人同士
の相互援助はさることながら、タ
イ社会と長きに渡って融和と親睦
を図ることを目的とした団体であ
り続けるために、会員の皆様と活
動を展開していきたいと思ってお
ります。

今後ともより一層のご支援をお
願い致します。本日はありがとうございました。